

## 平成30年度 試験研究・知識普及概要

### 《研究課題名・知識普及名》

歯科医院内で歯周病菌の即時分析を可能にする小型分析装置の開発

### 《申請者》

フリガナ：ラスケーズ オギソ リョウ

所属機関・団体：ラスケーズ株式会社

職位・氏名：代表取締役 小木 曾 了

### 《研究・知識普及の概要》

口腔細菌感染症の1つである「歯周病」は、過去の調査で日本人の約80%が罹っていると報告されている。超高齢化社会を目前に控え、QOL（生活の質）の向上には歯周病に対する予防対策が急務である。口腔内のプラーク中に、どんな種類の歯周病菌がいるかで歯周病リスクが大きく変化することが知られている。特にレッドコンプレックスと呼ばれる *P.g* 菌、*T.d* 菌、*T.f* 菌の3菌種は歯周病患者から高い頻度で検出されることが多く、これら3菌種の菌種・菌量を経時的に把握することは歯周状態を知る上で高い意義があると考えられている。現状では、歯科医院内で歯周病菌の菌種・菌量を即時に分析することは難しく、唾液等を検査会社に郵送して検査することが一般的であるが、時間とコストがかかるため普及しているとは言い難い。本研究では、歯科医院内で歯周病菌の菌種・菌量を簡便・安価・迅速・高精度に即時分析可能な小型分析の実用化研究を行う。